



福島医発第2159号(地)
平成27年11月 7日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松 田 峻一良
(公 印 省 略)

医療安全全国フォーラム 2015 の開催について

今般、一般社団法人医療安全全国共同行動より「医療安全全国フォーラム」を開催する旨連絡がありましたのでお知らせいたします。

つきましては、貴会におかれましてもご了解いただくとともに、貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

記

1. 開催日時・場所

平成27年11月21日(土) 10時00分～15時30分(受付開始9時30分)
幕張メッセ国際会議場(千葉県千葉市美浜区中瀬2-1)

2. 内容

第一部 分科会A～E セミナー／ワークショップ

第二部 シンポジウム

- ・ソレル・キングさんによるビデオレクチャー&
アルバート・ウー先生の特別講演
- ・ディスカッション

3. 参加費

3,000円

4. 問合せ先・申込み先

一般社団法人 医療安全全国共同行動事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷2-29-1 渡辺ビル2階

TEL: 03-6240-0893 FAX: 03-6240-0894

E-mail: secretariatpartners@kyodokodo.jp

“いのちをまもるパートナーズ” 医療安全全国フォーラム2015

～テーマ「こうあってほしい医療安全—患者の視点から」～

- 日時：2015年11月21日（土）10:00～15:30（受付開始 9:30）
- 会場：幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1）
- 主催：一般社団法人 医療安全全国共同行動 ■後援：厚生労働省、全国知事会
- 参加費：3,000円

● プログラム ●

【第1部】 10:00～12:00 分科会A～E（医療安全のための行動目標別セミナー／ワークショップ）
※各分科会のテーマと講師については裏面をご参照ください。

【第2部】 13:00～15:30

開会挨拶 高久 史磨（医療安全全国共同行動 議長、日本医学会会長）

シンポジウム「医療者と患者のパートナーシップを推進するために ～『ジョージの物語』は米国の医療の安全をどのように変えたか？」

2001年、米国のジョンズ・ホプキンス大学病院で起きた医療事故で1歳半の娘ジョージを亡くしたソレル・キングさんは、事故の和解金でジョージ・キング財団を創設しました。ソレルさんは、いくつかのきっかけや出会いを通して、一人の母親としての悲嘆や怒りを、医療安全活動を進める前向きなエネルギーに変え、全米の医療機関・医療従事者に大きな影響を与えてきました。本年、その著書『ジョージの物語』の日本語版が出版されました。ソレルさんは2004年12月に始まった米国の100K＜十万人の命を救え＞キャンペーンと深いかわりを持ってこられ、このキャンペーンをモデルとして始まった日本の医療安全全国共同行動との縁も深いといえます。

本シンポジウムでは、ソレルさんにビデオレクチャーをいただき、ソレルさんを全面的にサポートしてこられた医師のアルバート・ウー先生にご講演をいただいたあと、日本の医療安全活動のこれからを、医療安全全国共同行動「行動目標8：患者・市民の医療参加」の取り組みとして、「患者とのパートナーシップ」の視点からディスカッションします。

司会：山内 桂子（医療安全全国共同行動 技術支援部会 行動目標8「患者・市民の医療参加」代表）

13:05 ビデオレクチャー「日本の医療者の皆さんへ～ジョージ・キング財団が進めてきたこと」
ソレル・キング（ジョージ・キング財団設立者・代表、『ジョージの物語』著者）

13:25 講演「ジョンズ・ホプキンス病院における医療過誤と患者安全改革」
アルバート・ウー（ジョンズ・ホプキンス大学医療アウトカム研究センター教授、医療の質・患者安全プログラムディレクター）

14:25 ディスカッション『『ジョージの物語』に学び、私たちの次の一歩につなぐために』

[パネリスト] 豊田 郁子（IMSグループ新葛飾病院 セーフティーマネージャー、患者・家族と医療をつなぐNPO法人「架け橋」理事長）、岡本 左和子（奈良県立医科大学 健康政策医学講座 講師）、松村 由美（京都大学 医療安全管理部 病院教授・医療安全管理室長）、高橋 英夫（名古屋大学大学院医学系研究科 救急・集中治療部 准教授）

閉会挨拶 小泉 俊三（医療安全全国共同行動 専務理事）

（敬称略）

■分科会のご案内

*詳細はホームページ (<https://kyodokodo.jp>) をご覧ください。

分科会A「行動目標1：危険薬の誤投与防止」 《投薬事故防止を原点から考える》 (講義と総合討論)
講師 ■我妻 恭行 (東北薬科大学 薬剤学教室 准教授) ■齋藤 泰紀 (国立病院機構 仙台医療センター 副院長) ■菅野 隆彦 (長野県厚生農業協同組合連合会 下伊那厚生病院 内科部長)
分科会B「行動目標2：(周術期)肺塞栓症の予防」 《がん患者における包括的な静脈血栓塞栓症のリスクマネジメント ～特に周術期以外の管理法を考える～》 (講義とケーススタディ)
講師 ■菊地 龍明 (公立大学法人横浜市立大学附属病院 病院長補佐／医療安全・医療管理学 准教授) ■中村 真潮 (村瀬病院 副院長／肺塞栓・静脈血栓センター長、三重大学大学院 循環器・腎臓内科学 客員教授) ■畑 泰司 (大阪大学大学院 医学系研究科 外科学講座 消化器外科学 助教) ■向井 幹夫 (大阪府立成人病センター 循環器内科 主任部長) ■安井 昌義 (大阪府立成人病センター 消化器外科 副部長) ■山本 尚人 (国立大学法人浜松医科大学 第二外科 助教)
分科会C「行動目標6：急変時の迅速対応」 《急変時の迅速対応とRRS》 (講義とワークショップ)
講師 ■川嶋 隆久 (医誠会病院 副院長／救命救急科部長) ■高橋 英夫 (名古屋大学大学院 医学系研究科 救急・集中治療医学 准教授) ■野々木 宏 (静岡県立病院機構 静岡県立総合病院 院長代理) ■安宅 一晃 (奈良県立医科大学附属病院 医療安全推進室 室長) ■児玉 貴光 (愛知医科大学 災害医療研究センター 講師) ■藤谷 茂樹 (東京ベイ・浦安市川医療センター センター長) ■三宅 章公 (静岡県立病院機構 静岡県立総合病院 救急科 (高度救命救急センター) 医長)
分科会D「行動目標S：安全な手術 - WHO指針の実践」 《あなたの病院の手術安全チェックリスト、それでいいですか? 》 (講義とワークショップ)
講師 ■市川 高夫 (新潟勤労者医療協会 下越病院 麻酔科 部長) ■近江 明文 (東京医科大学八王子医療センター 麻酔科 教授) ■三枝 典子 (前橋赤十字病院 看護部 看護副部長) ■西脇 公俊 (名古屋大学医学部附属病院 麻酔科 教授) ■ミルズ しげ子 (長野赤十字病院 看護部 教育担当副部長) ■安田 あゆ子 (名古屋大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 講師)
分科会E「診療所の医療安全：歯科診療所の課題」 《歯科診療所における医療安全の行動目標とその取り組み》 (講義)
講師 ■瀬古口 精良 (日本歯科医師会常務理事) ■宮本 智行 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 麻酔・生体管理学分野助教(兼) 東京医科歯科大学歯学部附属病院 医療安全管理室副室長、日本歯科医師会歯科医療安全対策委員会委員) ■武藤 智美 (日本歯科衛生士会 病院・診療所委員会委員)

*参加お申し込みの際に、ご希望の分科会をお選びください。

お問い合わせ：医療安全全国共同行動事務局

e-mail forum-seminar@kyodokodo.jp

電話 03-6240-0893 FAX 03-6240-0894